



平成23年度 北中物語 22号
 平成23年10月25日
 文責:校長 中村 裕子
 校長mail yuko-nakamura@staff.gsn.ed.jp

「口は文化」

— そうだ、歯医者へ行こう!! —

下記の数字は本年度の歯科治療にかかわるものです。

633人の生徒のうち



治療を必要とする生徒の数	477名(4月現在)
治療を完了した生徒の数	292名(10/24現在)



このことから

185名の生徒が未だ治療が済んでいない(治療に行っていないも含む)ということになります。(皆さんのお宅はいかがでしょう)この時点で185人の生徒が治療できていないということは、大問題なのです。なぜなら、「病気を抱えながら生活している子どもが北中には38.8%もいる」ということだからです。それでは、タイトルに「口は文化」としたのはどういうことかと言いますと、全生徒の約38.8%が未治療という数字は北中の子どもの口の文化は「昭和50年後半」ということになります。世界に数ある病気で100%治療できるのが「子ども時代の『歯』」です。

しかし、この治療、子どもの努力だけではどうにもなりません。治療に行かせるという保護者の行動が必要なのです。どうぞ、大切なお子さんが「治せる病気を持ったまま生活していることは大変なことである」という認識に立ち、治療を急いでください。「歯科治療未実施=歯の病気」という負の財産を持たせて新しい年に進むことのないようにしてあげてください。歯科医によりますと、中学生の場合、治療に要する回数は3回~7回だそうです。膨大な時間は必要としませんので是非、今日から早速、治療に向かってください。

歯科治療、なぜこんなにお願ひするかといいますと、学力と歯の状況は密接に関係しているというデータがあるからです。北中では「歯科治療済み100%」を実現させたいと思っております。ほとんどのことが藤岡一の学校なので、歯の治療率も藤岡一になりましょう!!(帰宅時間が早まっている今がチャンス!!)

歯科治療、中学生までは、治療費は無料です!!

(これを逃す手はない!!、さあ歯医者へ行こう!!)



勉強ができるようになりたい…しかし、それ以前に…

仏壇や神社の前で手を合わせるとき、子どもたちは必ず「勉強ができるようになりますように」と祈ります。仏や神の前で手を合わせる、この神妙にして、崇高な行為で祈ることが『勉強ができるように』なのです。

では、この勉強ができるようになるためには、何をすればいいのでしょうか。このことへの回答はただひとつ「勉強する」です。しかし、この「勉強する」以前の問題として、「勉強をする環境にない」ことも事実です。

それは何か…。それは「ケータイ」の存在です。以前の本たより（9／20発行）で「ケータイを持たせ、自由に使用させておいて、学力向上は望むべきでない」と記述しました。ここで、改めてこのことを保護者の皆さまにご忠告申し上げたく、次の興味深い調査結果をお示しいたします。これは大阪府の調査で、「メールを1日に30通以上受信する子ども（ケータイ依存症）」と「ケータイを持っていない子ども」の比較です。

調査項目	「メールを1日に30通以上受信する子ども」の状況
「12時より遅く寝る」	「ケータイを持っていない子ども」の2.2倍
勉強に自信がない	「ケータイを持っていない子ども」1.9倍
部活動に参加しない	「ケータイを持っていない子ども」1.6倍
イライラする	「ケータイを持っていない子ども」2.0倍



これはたいへん！

ここから、ケータイに依存している子どもは、そうでない子どもに比べて、「睡眠時間が短い」「勉強に自信がもてない」「部活に不参加」「イライラしている」等の可能性が高いと言えます。

こうしたことから、使用時間や使用場所を決め、依存することにならないようにしないと、大変なことになると思います。ご家庭では、特に夜間の使用について、しっかり管理する必要があります。どうぞ、各ご家庭間で協力し合い、適切な使用を実践してください。

また、重ねてお伝えしますが、中学生にケータイは必要ありません。（子どもの要求に負けないで！）

「勉強はできるようになりたい」、しかし、そのための環境整備が不十分という現状を一日でも早く打破させていきましょう。



「体育祭弁当」、親子愛がいっぱい…。

「愛情・感謝・手づくり」をキーワードに全校で取り組んだ「体育祭弁当」。多くのご家庭が「子どもとともに」を実践してくださいました。ここに、保護者様の感想をご紹介します。

(^_^) 毎日が給食なので、年に数回のお弁当づくりは、子どもに「目に見える愛情」が与えられてとてもよい機会だと思いました。（3年生保護者）

(^-) 早朝4時半に起きて、二人で作りました。厚焼き卵も上手に焼け、こんにゃくの煮物も串に刺して可愛くおいしくできあがりしました。（3年生保護者）

(^o^ 料理する息子に隣で口を出しながらも、「まあまあじゃない(^.^)…」とうれしく、楽しかったです。（2年生保護者）

!(^^)! 朝早くから段取りもわからず大変そうでしたが、その「大変さ」がわかったことがよかったです。（1年生保護者）

(^-) 今までお弁当は「作ってもらうもの」でしたが、今回の取り組みによって、「自分で作るもの」に意識が変化していくことと思います。たかがお弁当、されどお弁当。親子で話し合う機会を提供していただいて感謝です。（1年生保護者）

— さあ、次は「北斗祭弁当」です。11／4は朝からキッチンも熱い！！ —